

最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 8 月 3 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、レンジ相場の地合いにあり、+1 σ ラインと-1 σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、バンド幅の収束傾向は続いており、総じて、レンジ相場の地合いを強めている。また、遅行スパンがローソク足に接近、接触するタイミングは、一旦は押し目買いのチャンスと読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、+2σラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。終値が+1σラインの下方で引けると、ドル反落しやすくなる。一方、今後、終値が+1σラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続く場合、本格上昇トレンド入りするシナリオが残る点、引き続き注意はしておきたい。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続しており、終値が+2σラインと+1σラインの間に位置していることから、依然として、逆行パターンの売りサインが点灯継続中である点に注目したい。

■ユーロドル

◆スーパーボリンジャー

<<<日足分析>>>

○大局観＝レンジ相場、本格下落トレンド入りの可能性高まる

○遅行スパン＝ローソク足に絡みつつも陰転してきており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、-1σラインと-3σラインの間でのレンジ相場と判断。尚、終値が-1σラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格下落トレンド入りする可能性が高まると読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝緩やかな下落トレンド、調整の反騰局面継続の可能性は残す

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。尚、終値が -2σ ラインの下方で引けないかぎり、調整の反騰局面継続の可能性は残していると読む。

◆スパンモデル

依然として、売りシグナルの逆行パターンのユーロ買いサインが点灯している点、引き続き、注目したい場面。尚、終値が 1.1525 近辺を下回って引けると、順行の売りサインが点灯する点に注意しておきたい。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、本格下落トレンド入りするかどうかの瀬戸際

○遅行スパン＝陰転するかどうかの瀬戸際

○トレンド判断と戦略＝レンジ相場の地合いにあり、レンジの下限である -2σ ラインに到達。目先、 -1σ ラインと -3σ ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、今後、終値が -1σ ラインの下方を推移し続け、バンド幅が拡大するかぎり、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、要注意。

◆スパンモデル

依然として、買いシグナルの逆行パターンの売りサイン、さらには、赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点、そして、逆行パターンの売りサイン点灯時のターゲットである -2σ ラインに到達している点に注目。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと-2σラインの間でのレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

引き続き、売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点、そして、最終目標値の+1σラインから+2σラインのゾーンに達した点に注目したい。また、遅行スパンが、ローソク足が高値を付けたタイミングを通過してきており、遅行スパンの下落、すなわち、ユーロ売り圧力が強まっている。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1σラインと-2σラインの間でのレンジ相場と判断。バンド幅の縮小傾向がレンジ相場の地合いの強さを示唆している。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=依然として、バンド幅の収束傾向が続き、レンジ相場の地合いを強めていると読み、目先、+2 σ ラインと-2 σ ラインの間でのレンジ相場と判断する。

◆スパンモデル

引き続き、赤色スパン、および、スパンモデルシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点、そして、すでに、逆行パターンの買いサイン点灯時の最終ターゲットの+2 σ ラインに到達した後に、反落している点に注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、-1 σ ラインと-3 σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、今後、終値が-1 σ ラインの下方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向に転じると、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、要注意。

◆スパンモデル

買いシグナルの順行パターンの買いサインが点灯している点に注目。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと-2σラインの間でのレンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。